

2022/12/2(金)

第 58 回 地域農林経済学会四国支部大会のご案内

拝啓 初冬のみぎり、みなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて 2022 年度地域農林経済学会四国支部大会(幹事校:高知大学)といたしまして、下記の要領でシンポジウムを開催いたします。今年度は、高知県の農山村が人口減少や高齢化に伴い、集落機能の低下を来している現況に鑑み、その対策について皆で考えようというものです。内容の詳細は、別紙趣意書およびプログラムをご覧ください。

なお、今回もコロナの感染状況とその予測に鑑み、オンライン開催としたいと思います。事前登録が必要になりますので、下記の要領に従ってご登録いただければと思います。

それでは多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

テーマ:高知県農山村の集落機能の低下にどう対応するか? -担い手支援・移住促進・空き家利用対策-

日時:2023年1月28日(土曜)午後1時半~4時半

於:Zoomによるオンライン開催

参加費:無料

参加方法:下記の入力フォームにご入力いただきましたら、ZoomのミーティングIDを発行し、メールでお送りいたします。参加をご希望の方には、下記URL(ないしQRコード)の入力フォームから、1/27(金)17時までに必要な情報をご入力下さい。

URL:<https://forms.gle/gDt9z7fJTKL5xK15A>

QRコード:

※この入力フォームに入力いただいた個人情報は、ZoomのミーティングIDのご連絡や参加者数把握等の目的以外には使用いたしません。

大会事務局:

〒780-8052高知市曙町2-5-1 (人文社会科学部棟内)

高知大学大学院黒潮圏総合科学専攻 新保輝幸

Email: shinbo@kochi-u.ac.jp , Tel: 088-844-8251

Zoom 関連のお問い合わせは、下記までお願いします。

高知大学地域協働学部 霜浦森平

Email: shimoura@kochi-u.ac.jp , Tel: 088-888-8079



主催:地域農林経済学会四国支部 共催:高知大学人文社会科学部

シンポジウム(地域農林経済学会四国支部 第 58 回研究大会(高知))

高知県農山村の集落機能の低下にどう対応するか？

－担い手支援・移住促進・空き家対策－

趣意書

高知県においては、人口減少と高齢化が進んでいる。具体的なデータを国勢調査結果にみると、2015 年から 2020 年にかけての高知県の人口減少率は-5.0%で全国 4 位、2020 年の高齢化率は 35.5%で全国 2 位の数値となっている、それにより、特に中山間地域では担い手不足にとどまらず、集落機能の低下が進んでいる。

高知県によって 2021 年度に実施された高知県集落調査の結果を見ると、地域活動への参加者が減少すると共に、地域の世話役の後継者も減少している。さらに、現在行われている、道路や用水路の維持・修繕、集会所や、神社・仏閣等地域の核になる施設の維持管理、祭りや伝統芸能の継承といった集落の重要な共同作業が今後 10 年間のうちに継続が困難になると約 3 割の集落が予想している。地域の生業を立て直し、集落の担い手を育てていくことが喫緊の課題となっている。

また人口減少に伴い、集落内の空き家も増加し、管理がおろそかになって倒壊の危険や犯罪を誘発する懸念が出てくる、害虫や野生生物のすみかになる、植栽が繁茂し見通しが悪くなる等、さまざまな問題が生じている。空き家を継承する集落外に転出した農家・林家の子弟を巻き込んでその対策を行う必要があるが、多額の費用を負担する必要があるため、対策は中々進まないという状況である。

救いとなるのは、多くの住民が集落に愛着を持ち、「住み慣れた地域で暮らしていきたい」と希望されている点である。それに応え、行政や NPO も、農業の担い手支援や移住促進策、空き家対策など、さまざま施策を進めている。

本シンポジウムでは、高知県中山間地域において深化しつつある人口減少による集落機能の低下の問題を整理した上で、それを押しとどめようといわれている行政の施策や NPO の取り組み、個人の活動を報告してもらい、高知県農山村の未来を拓く道を検討したい。

(文責:高知大学黒潮圏総合科学専攻 新保輝幸)

【参考】

高知県中山間地域対策課『令和 3 年度高知県集落調査 概要版』

高知県庁 HP「中山間対策の充実・強化のページ」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/070101/2017032200283.html>

シンポジウム

高知県農山村の集落機能の低下にどう対応するか？

－担い手支援・移住促進・空き家対策－

(地域農林経済学会四国支部 第58回研究大会(高知))

日時：2023年1月28日(土曜) 午後1時半～4時半

於：Zoomによるオンライン開催

1. 座長解題「農山村の空き家問題とその対策：移住促進と担い手支援」(10分)
高知大学地域協働学部 玉里恵美子会員
2. 高知県の中山間地域の課題と対策：集落实態調査結果から(15分)
高知県中山間地域対策課課長 安藤優氏
3. 高知県農業における人と農地の課題と担い手対策(15分)
高知県土木部住宅課空き家対策チーム主幹 佐々井愛美氏
4. 高知県における空き家の現状と対策(15分)
高知県農業振興部農業担い手支援課課長 武井久氏
5. 香美市におけるNPOによる移住定住交流支援の取り組み(20分)
NPO 法人いなかみ 事務局長 近藤純次氏
6. 土佐町石原への移住体験：山の辣油の開発と販売(20分)
土佐町いしはらキッチン 三谷七香氏
7. 香南市香我美町山北における地域内連携の取り組み：持続可能な山北みかん産地の構築と移住者受け入れ(20分)
株式会社山北みらい代表取締役社長 堀川里望氏
8. 総合討論
座長：高知大学地域協働学部 玉里恵美子会員
コメンテーター： 高知大学人文社会科学部 飯國芳明会員
高知大学農林海洋科学部 松島貴則会員
9. 座長まとめ